

<個別案件確認表（東京都）>

東京都担当確認年月日 2021年2月9日

東京都作業部会確認年月日 2021年2月10日

事業名

案件名 仮設小規模電気工事

確認の視点	東京都の見解	備考
経費の負担が平成29年5月31日の合意の考え方に基づくものであること	<ul style="list-style-type: none"> ・本案件は、大卒の合意に基づくエネルギーのインフラに係るものであり、経費分担については、大卒の合意に基づいていることを確認した。 ・執行見込額は、V5 予算内であることを確認した。 	
事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること	<ul style="list-style-type: none"> ・組織委員会は、大会においてエネルギー供給に関する責任を持ち、IOC、国、インフラ事業者及び各 FA など、多くの関係者と調整し、コストを削減しながら準備を進めている。 ・組織委員会は、各 FA が大会中に使用する機器等に対し、確実に電力を供給することが求められている中、電力インフラ、会場内の仮設電源設備及び無停電電源装置の調達等にかかる大会経費について東京都作業部会で確認してきた。 ・本案件は、新国立競技場等 43 会場と非競技会場である選手村・IBC/MPC（東京ビッグサイト）等において、低圧分電盤や低圧ケーブル、コンセント等の電気設備をレンタルで調達し、設置、保守、運営、撤去までを一括して、東電タウンプランニング株式会社に発注するものである。 ・これまで IOC の大会運営要件に基づき、コストを削減しながら調整を進め、既に高圧受電盤や発電機等の仮設電源設備の調達等を実施している組織委員会が継続的に本契約を進めることにより、効率的で連続性のあるサービスの提供が可能となる。 	
経費の内容等が必要性（必要な内容、機能かなど）、効率性（適正な規	<ul style="list-style-type: none"> ・本案件は、開催都市契約大会運営要件のエネルギー要件に対応するために必要であり、テストイベントやテクノロジーリハーサル 2 に向けての会場での設置スケジュールを勘案して、今般発注が必要であることを確認した 	開催都市契約大会運営要件 NRG04～08

<p>模、単価かな ど)、納得性 (類似のも のと比較し て相応かな ど)等の観点 から妥当な ものである こと</p>	<p>効 率 性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発注額について、以下の内容を確認した。 <ul style="list-style-type: none"> ① 発注額は、東電タウンプランニング株式会社の見積りを採用。都の基準(積算基準(令和2年4月東京都財務局))に基づく試算と比較し、試算以下であることで妥当性を確認。 ② 設備の仕様及び数量は、各FA等の関係者と調整の上、実施してきた設計に基づくものであることを確認。 ③ レンタルスキームとすることで処分費を低減。 ④ 試算における設備の単価は、長期間のレンタルであり購入額相当となることから、公共単価及び一般的な購入単価を採用。 ⑤ 試算における保守、運営に係る人工の単価は、公共単価を採用。人工の数量は、会場・日ごとに、設置工事完了後から競技終了までの期間において、想定作業量以下の数量を設定。 	
	<p>納 得 性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで組織委員会は、大会時のエネルギー供給に向けてIOCと要件緩和の調整や適宜設計の見直しを行い、コスト縮減に努め、進めてきている。 ・本案件において、設備調達や保守、運営におけるスケールメリット等による価格低減交渉を実施し、コスト縮減に努めていることを確認した。 ・本案件は、新国立競技場等43会場と非競技会場である選手村・IBC/MPC(東京ビッグサイト)等において、IOCの求める実施体制を確保し、大会に必要な電力を供給するために必要であり、その発注額の妥当性について確認した。 ・調達部での交渉を通じ、さらなるコストの削減に努めていただきたい。 	
<p>その他経費の内容 等が公費負担の対 象として適切なも のであること</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・大会開催都市としての責任を持つ東京都が大枠の合意に基づき確認した結果、本事業の経費を公費で負担することは適切と考えられる。 	

*公費負担の対象となるパラリンピック経費に該当するか否かについては、「パラリンピック経費の基本的な考え方について」に基づき、パラリンピック作業部会において確認するものとする。